

宇都宮市立東小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	・主体的に取り組むため、協働的に学び合う授業の推進 ・児童の発言を広げ、つなげるなど協働的な学びのある授業の工夫	・「勉強が好きですか」という設問では、低学年・中学年・高学年と学年が上がるにつれ少しずつ肯定割合が下がっている。特に高学年の肯定割合は5年生が48%、6年生が35.3%と、半数を下回っている。 ・「グループなどでの話し合いに自分から進んで参加している。」の設問では、肯定割合は65.5%～100%と、学年によって差が大きい。
・個に応じた指導と協働的な学びの充実	・対話的・協働的な学びを通して、自分の考えを表現する場の設定 ・ICTや教材・教具の活用と児童の問いを生かす工夫	・「自分の考えを、根拠(理由)をあげながら話すことができる。」(4～6年)の設問では、61.8%～72.4%と、が学年によって差が大きい。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

- ・単元全体を見通して単元計画を立てたり、「宇都宮モデル」の「はっきり！じっくり！すっきり！」を意識した授業を展開したりすることで、分かる授業を目指す。
- ・協働的な学びの場を設定する際、目的をもってペア学習やグループ学習ができるように、観点を示してから話し合いを行わせるなど、児童の様子をよく観察し、協働的な学びが効果的になるように工夫していく。
- ・授業の中で行われる全体交流の場では、小刻みな共有の時間を取り入れたり、児童の発言を他の児童の発言につなげるようにしたりするなど、対話的な学び、深い学びになるように工夫していく。
- ・授業のねらいの達成のために、ICTの活用を効果的に取り入れるようにしていく。